

# Color Tone Matching Assistant

## ユーザーズガイド

---

概要

色調整の方法

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Windows Server<sup>®</sup> は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

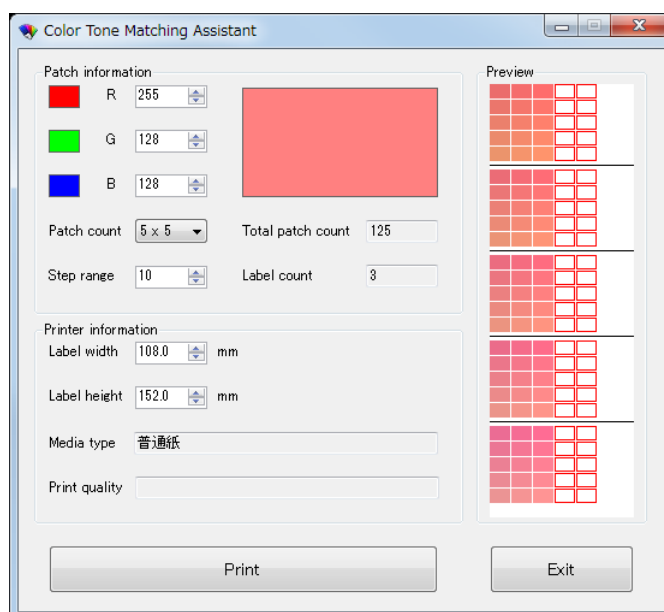
© Seiko Epson Corporation 2014. All rights reserved.

# 概要

## 概要

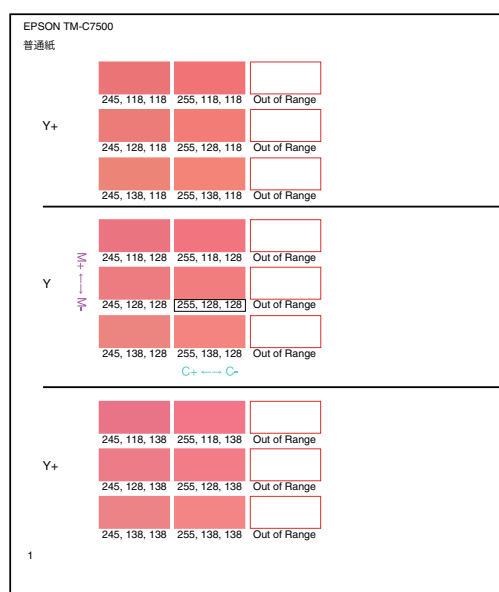
Color Tone Matching Assistant は、印刷するイラストや文字の色調整を支援するためのユーティリティです。本ユーティリティで印刷したい色を、3 要素 (R: レッド、G: グリーン、B: ブルー) で指定すると、それぞれの要素を少し変化させたサンプルパターンを印刷します。お客様はそこから印刷する色を選択し、グラフィックソフトウェアなどで元のデータに指定します。このデータを印刷すると、お客様が指定した色で印刷できます。

本ユーティリティでは、イラストや文字などの特定の色が、どのような色味で出力されるかを確認できます。写真など多彩な色のデータを調整したり確認したりすることはできません。



Color Tone Matching Assistant は、以下の機能を持っています。

- 印刷する色の RGB 値のサンプルパターンの作成
- サンプルパターンの印刷



## ユーティリティのファイル名



ColorToneMatchingAssistant.exe

## 動作環境

### OS

- Windows 8.1 (32 bit/ 64 bit)
- Windows 8 (32 bit/ 64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/ 64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit/ 64 bit)
- Windows XP SP3 (32 bit)
- Windows Server 2012 R2 (64 bit)
- Windows Server 2012 (64 bit)
- Windows Server 2008 R2 SP1 (64 bit)
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit/ 64 bit)
- Windows Server 2003 R2 SP2 (32 bit)

#### 参考

サポート OS は、プリンターおよびプリンタードライバーによって異なる場合があります。各エプソン製インクジェットラベルプリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

## ソフトウェア

以下のソフトウェアを事前にインストールする必要があります。

- .NET Framework Ver.3.5（EPSON からは提供されません。お客様が入手してください）
- プリンタードライバー（エプソン製インクジェットラベルプリンター専用）

## 注意事項

□ 色の性質上、以下の事柄はできません。

- ディスプレイで表示された色を忠実に再現することはできません。
- インクジェットラベルプリンターのインクは、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)などのインク色で表現します。本ユーティリティでは、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)で設定をします。そのため、完全に色を合わせることはできません。

### 参考

K(ブラック)は、プリンターによっては搭載していません。

- 色の見え方、感じ方は個人によって異なります。そのため、すべての人が同一に感じる色を表現することはできません。

□ 色調整をする場合は、以下の環境で行ってください。

- 色は周囲の色、照明によって色味が異なります。たとえば、赤い照明の環境では、赤い成分の印刷は暗く感じます。色を確認する場合、明るい環境で確認してください。

### 参考

商用印刷物をチェックするような場合は、分光エネルギーがフラットに分布された蛍光灯で 5000 K(ケルビン)で 500 ~ 600 lux(ルクス)程度の環境で観察しています。

- 同じデータを使用しても、印刷用紙の紙種や紙厚によって印刷結果は大きく異なります。そのため、色調整は印刷するラベル紙で確認してください。



# 色調整の方法

Color Tone Matching Assistant を使用した色調整は、印刷データの作成の際に以下の手順で行います。

## 1. 印刷データの RGB 値の取得 (8 ページ)

グラフィックソフトウェアなどで、色調整する色の RGB 値を取得します。

## 2. プリンターの接続 (9 ページ)

プリンターを接続し、実際に使用するラベル紙をセットします。

## 3. RGB のサンプルパターンの作成と印刷 (10 ページ)

Color Tone Matching Assistant を起動し、調整する色の RGB 値とパターン数などを設定します。

## 4. サンプルパターンの確認 (12 ページ)

印刷されたサンプルパターンから、目的の色を探し、その色の RGB 値を確認します。

## 5. 印刷データに、RGB 値を設定 (15 ページ)

グラフィックソフトウェアなどで印刷データに、RGB 値を設定し、保存します。

## 6. アプリケーションから印刷データを指定 (16 ページ)

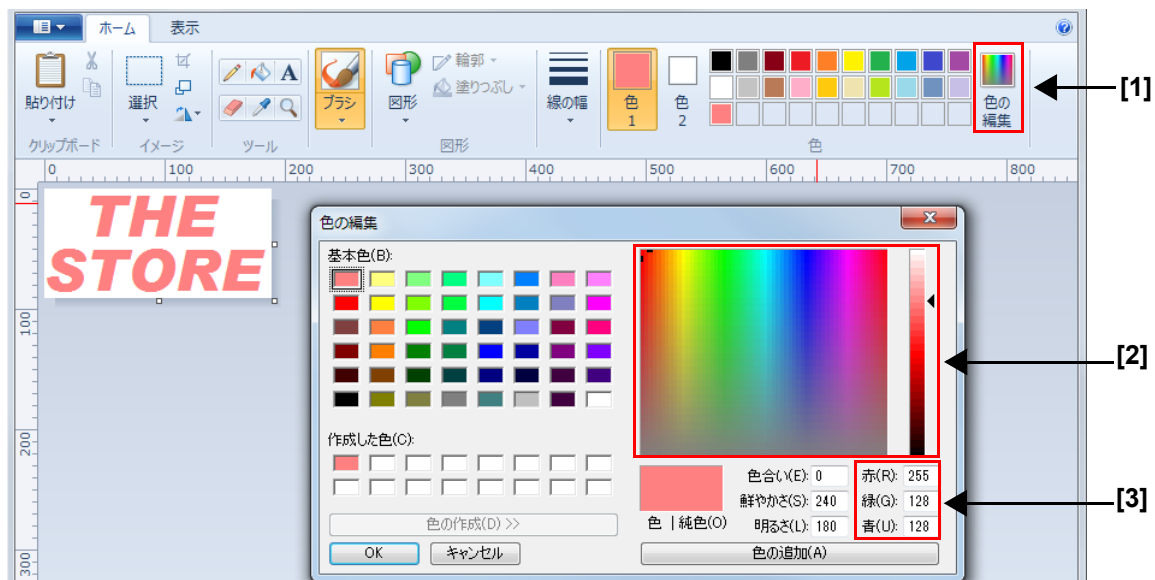
アプリケーションから指定して印刷するか、画像としてプリンターに登録して印刷します。

## 7. 印刷 (16 ページ)

# 印刷データの RGB 値の取得

元データの色の RGB 値を調べます。

以下の例は、Windows に付属の「ペイント」で、“R:255、G:128、B:128”を取得します。



- 1 [色の編集] をクリックし、[色の編集] 画面を表示します。
- 2 印刷データに使用したい色を選択します。
- 3 選択した色の RGB 値を確認し、記録しておきます。

## 参考

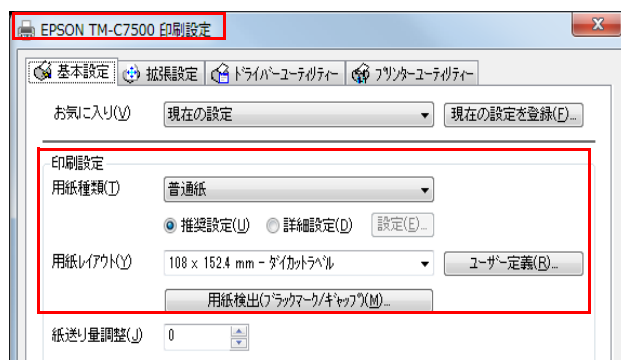
グラフィックソフトウェアによって、RGB 値を調べる方法は異なります。各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご確認ください。



## プリンターの接続

以下を行います。

- EPSON 製インクジェットラベルプリンターをコンピュータに接続します。
- 実際に使用するラベル紙をプリンターにセットします。
- 印刷キューのプリンター名に“EPSON”が含まれていることを確認します。
- プリンタードライバーの設定が、実際に印刷する設定になっていることを確認してください。  
実際に使用するラベル紙を変更した場合、以下を設定してください。
  - プリンターにセットした用紙の種類と用紙レイアウトを設定します。  
用紙レイアウトの「ラベル幅」と「ラベル長さ」の設定値は、サンプルパターンの作成時に使用します。
  - 用紙検出を設定します。



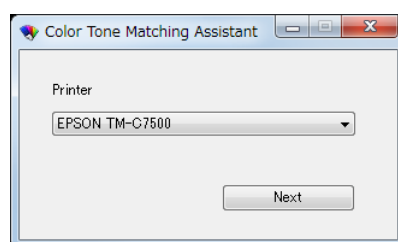
### 参考

ここでは、TM-C7500 のプリンタードライバーで説明しています。設定項目は、プリンターによって異なります。

# RGB のサンプルパターンの作成と印刷

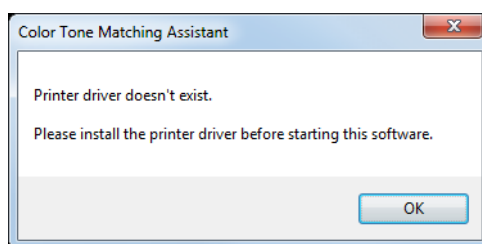
以下の手順でサンプルパターンを作成し、印刷します。

- 1 Color Tone Matching Assistant を実行します。
- 2 使用するプリンターを選択し、[Next] をクリックします。



## 参考

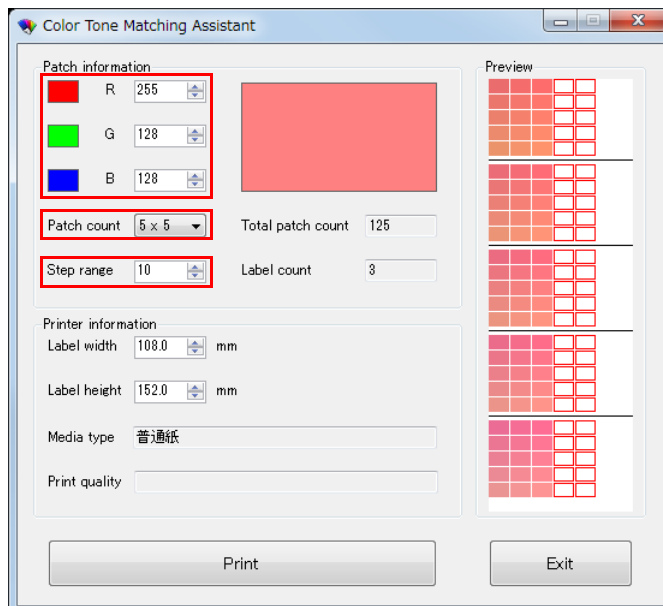
印刷キューのプリンター名に“EPSON”が含まれるプリンターを表示します。対象のプリンター名が存在しない場合、以下のエラーが表示され、本ユーティリティーは終了します。



この場合、印刷キュー名を“EPSON”が含まれる名前に変更してください。また使用するプリンタードライバーの設定を変更してください。

### 3 サンプルパターンを作成します。以下を設定します。

- [RGB] の値を入力
- [Patch count] を選択
- [Step range] を入力



項目	説明
Patch information	作成する色のサンプルパターンの設定です。
RGB	RGB 値を入力します。
Patch count	色サンプルの配列を選択します。 < 設定値 > <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5x5: 125 色のサンプルパターンが、Preview に表示されます。</li> <li>• 3x3: 27 色のサンプルパターンが、Preview に表示されます。</li> </ul>
Step range	作成するサンプルパターンの色の RGB 値の差を設定します。 より詳細な配色を調べたい場合、(Step range) の値を小さな値で設定します。
Total patch count	印刷されるサンプルパターンの数が表示されます。
Label count	印刷に必要なラベル数が表示されます。
Printer information	プリンターにセットされている用紙を指定します。
Label width	印刷するラベル紙のラベル幅を設定します。
Label height	印刷するラベル紙のラベル長を設定します。
Media type	プリンタードライバーに設定されている用紙レイアウトが表示されます。
Print quality	プリンタードライバーに設定されている印刷品質が表示されます。

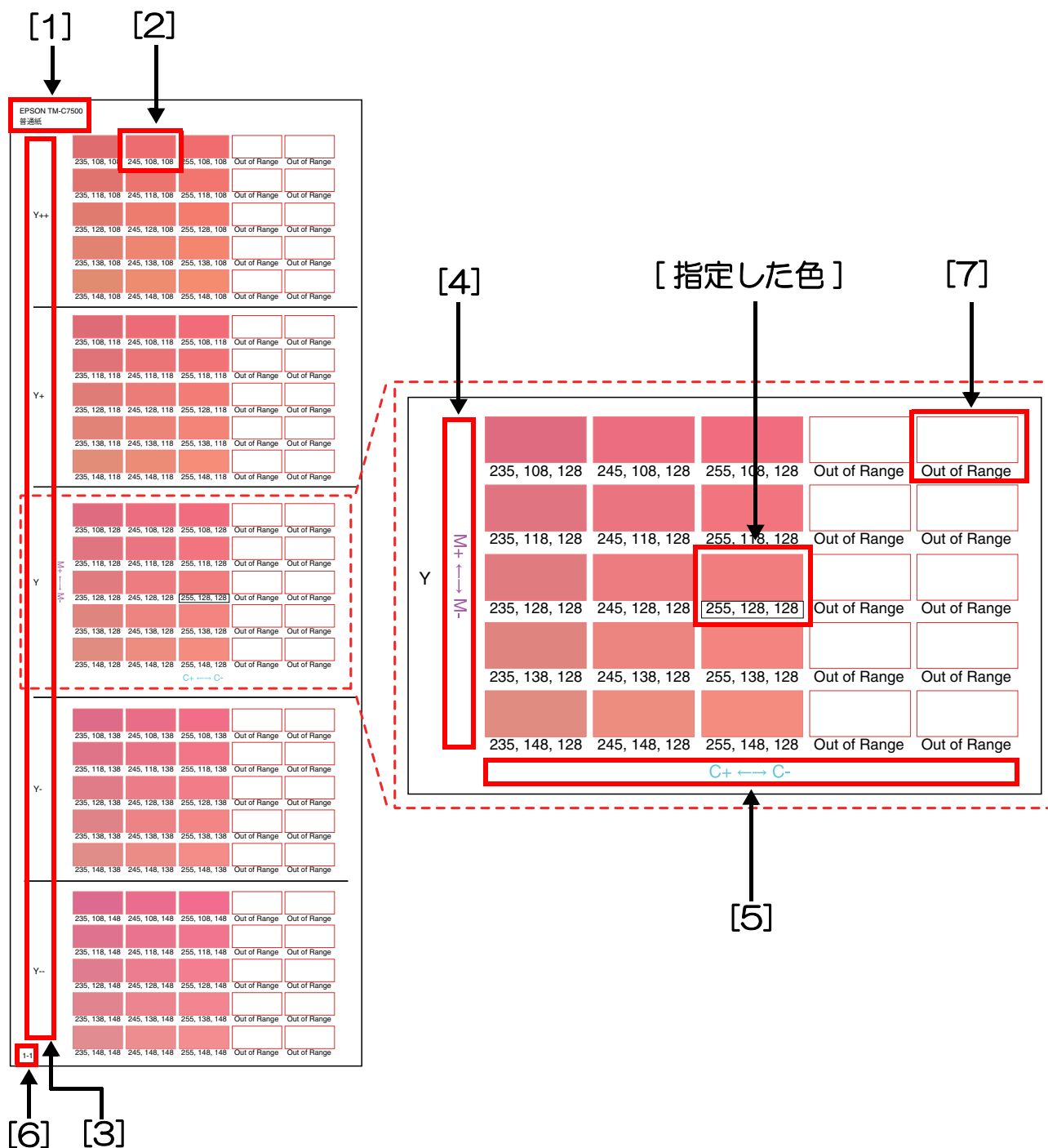
#### 注意

プリンターの機種によっては、取得できない設定値があります。

### 4 [Print] をクリックします。 サンプルパターンが印刷されます。

## サンプルパターンの確認

以下のようなサンプルパターンが印刷されます。色の各要素を1つずつ増減させたときの色を印刷しています。この中から、目的の色を探し、その色の RGB 値を記録してください。



サンプルパターンに印刷される内容は以下を参考にしてください。

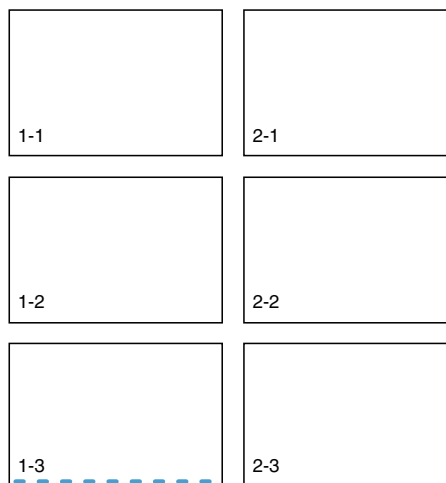
項目	説明
1	印刷したプリンター名と用紙名が印字されます。 サンプルパターンを印刷した環境が明らかになります。
2	色のサンプルと、RGB 値が印字されます。 目的の配色が見つかった場合、この RGB 値を印刷データに設定します。
3	B 値の減少で、イエローの色味が強まる変化を “+” と “-” 表記で表しています。
4	G 値の減少で、マゼンタの色味が強まる変化を “+” と “-” 表記で表しています。
5	R 値の減少で、シアンの色味が強まる変化を “+” と “-” 表記で表しています。
6	印刷したサンプルパターンのラベルのページ番号が印字されます。 横方向のパッチが 2 列以上になる場合、座標番号を表します。 サンプルパターンに対して、ラベル用紙サイズが小さい場合、サンプルパターンを複数枚使用して印刷します。印刷枚数は、Color Tone Matching Assistant の (Label count) で確認できます。 詳細は、 <a href="#">RGB のサンプルパターンの作成と印刷 (10 ページ)</a> を参照してください。
7	RGB のいずれかが 0 または 255 の場合、それ以上の色が表現できないことを示します。
切り取り線	印刷するサンプルパターンの数に対して、ラベル幅が狭い場合、横方向に並ぶサンプルパターンは、複数のラベルに分割して印刷されます。ラベルの配列が切り替わるラベルの下側に印刷されます。

### 参考

サンプルパターンに対して、ラベル幅が小さい場合、横方向の色のサンプルを分割して印刷します。その場合、ラベルの配置を横に並べる目印として、青い点線が印字されます。また、ページ番号にセットになる番号が印字されます。(例 :1-1, 1-2, 1-3, 2-1, 2-2, 2-3)

サンプルパターン全体を 6 分割して印刷する場合、下記の図のような順番で印刷されます。

この番号が座標番号になります。この場合、列が変わる 1-3 の下側に、切り取り線が印刷されます。



## 印刷されたサンプルパターンに目的の色が見つからない場合

印刷されたサンプルパターンに目的の色が見つからない場合は、以下を参考にして、色を探してください。

❑ 目的の色に近い色がサンプルパターンの中にある場合

サンプルパターンの RGB 値の差が大きすぎる場合があります。この場合、Color Tone Matching Assistant で、最も近い色の RGB 値を中心 RGB 値に設定し、[Step range] を小さく設定して再び印刷します。[RGB のサンプルパターンの作成と印刷 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

❑ 目的の色に近い色が色域の最外殻ではない場合（中心 RGB 値から目的の RGB 値が離れている場合）

この場合、Color Tone Matching Assistant で、サンプルパターンの端にある最も近い色の RGB 値を中心 RGB 値に設定し、[Step range] を目的の色まで遠い場合には大きく、近い場合には小さく設定して、再び印刷します。[RGB のサンプルパターンの作成と印刷 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

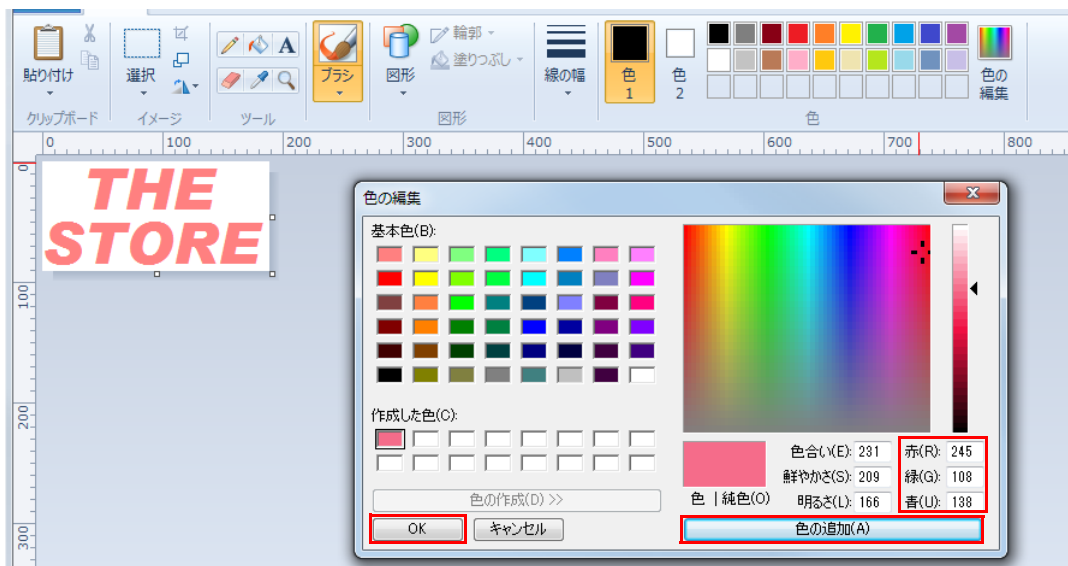
❑ 目的の色に近い色が色域の最外殻に当たる場合

（色再現できる最も外側の色。RGB のいずれかが、0 または 255 の値を持つ場合）  
このプリンターの印刷条件では、再現できません。

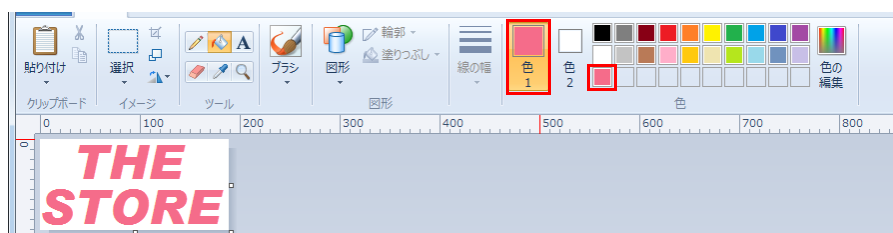
## 印刷データに、RGB 値を設定

グラフィックソフトウェアなどで印刷データに、RGB 値を設定します。

Windows に付属の「ペイント」の場合、以下の手順で RGB 値を設定します。



- 1 [色の編集] をクリックし、“色の編集”画面を表示します。
- 2 [RGB] に、サンプルパターンで探した色の RGB 値を入力します。
- 3 [色の追加] をクリックし、[OK] をクリックします。
- 4 追加した色を選択し、印刷データに反映し、保存します。  
これで印刷データの色調整が終了します。



## アプリケーションから印刷データを指定

色調整した印刷データをアプリケーションから指定して印刷できるようにします。

また、イメージファイルをプレプリントやテンプレートを使用して印刷する場合、プリンターにイメージファイルを登録します。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

## 印刷

実際の環境で印刷して、目的の色で印刷されるかどうかを確認します。

さらに色調整が必要な場合は、色調整フロー ([7 ページ](#)) の手順 3 からやり直してください。